

島は小宇宙

【白鷺スタイルカフェ 上島町】 しまの会社 <http://www.kibounoshima.jp/>

しまなみ海道から外れた離島だけで形成される上島町。「島国の中の島国」とも呼べるこの町にある弓削島へ、家族を伴って（騙して？）移住したのが今年の5月。環境の変化への不安は徐々に薄れ、妻も子供も島のリズムに同化してきている。田舎育ちの私がかつて憧れた都会の生き方に違和感を持ち始め、その昔、どの地域にもあった人の結びつきや自然との結びつきを社会に取り戻したいと、活動フィールドを模索していた時に出会った上島町。地域づくりの旗手・村上律子さんを始め、そこには沢山の元気な活動があった。離島という響きから想像できるように、急速な少子高齢化と経済基盤の脆弱化が進行する地域であるが、それでも子供の目は輝き、未来の光を感じさせる希望の島だと感じた。

「しまの会社」は、島民の島民による島民のための会社を謳い、地域住民が、自らのリスク負担と運営により、地域の将来のために事業を行う。地域資源を活かした収益事業を柱に、教育や福祉といった地域の欠くべからざる営みも地域のみんなの手で担うことを目指している。

11月末には、地域の交流、創造、発信の基地を目指す「しまでCafé」をオープン。島のシェフならぬ凄腕「シユフ」たちが、とれたての魚や野菜に愛情ソースを注ぎ込んで作ったメニューは、島内外から集まるお客様に喜んで頂いている。しかし単なるお店ではなく、ここを拠点に、島の人、外の人、様々な活動、古



島のシユフが元気をくれます

い文化、新しい文化を有機的に結びつけて、この希望の島の希望をもっと膨らませていきたいと思う。顔の見える関係があり、山も海も包摂するコンパクトな島世界は、そんな人や資源の有機結合を起こしやすい環境なのだと思ふ。始めてから気づいた。不利な条件を嘆くのではなく、この「小宇宙」的環境の優位性を活かして、一つの生命体のような地域を皆で創り上げたい。

兼頭 一司
（株）しまの会社

